

一般財団法人いばらき盲導犬協会 令和5年度事業報告書

1. 訓練業務／認定業務

以下の業務は、本法人の本来の業務（盲導犬育成）としておこなったものである。

1.1 候補犬の確保（繁殖・譲受・購入）

自家繁殖により6頭が誕生、他団体より仔犬2頭を譲受、成犬1頭を購入し、合計9頭の盲導犬候補を新規に確保した。その他、繁殖犬候補として成犬1頭を購入した。ただし、後述のように、自家繁殖で誕生した仔犬6頭のうち3頭を関係団体へ譲渡した（1.7参照）。

1.2 研修会・訪問指導

仔犬飼育ボランティアを対象とした合同研修会「しつけ教室」を3回開催。各家庭を訪問しての個別指導を22回おこなった。

1.3 犬の訓練（基本訓練、誘導訓練）及び飼育（通院等の健康管理を含む）

17頭の犬に対して、盲導犬候補としての飼育、及び訓練をおこなった。そのうち4頭を盲導犬として認定、6頭をキャリアチェンジ犬として譲渡した。他の7頭のうち2頭を繁殖犬、1頭をPR犬として確保、残りの4頭については引き続き次年度に訓練をおこなう。

1.4 フォローアップ

盲導犬使用者全員に対して現地での定期フォローアップをおこなった（10頭に対し合計26回）。また、非定期の現地フォローアップを2頭に対して4回おこなった。

1.5 共同訓練・認定

視覚障害者4名について共同訓練をおこない、4頭を盲導犬として認定した（東京都2頭、千葉県1頭、神奈川県1頭）。このうち2頭が自治体の身体障害者補助犬給付事業（千葉県、神奈川県）であった。また、認定した4頭は全て「代替」であった。

1.6 返還

本年度以前に認定された盲導犬のうち、1頭（平成28年認定；東京都）が退役した。

1.7 譲渡

自家繁殖にて誕生した仔犬6頭のうち1頭を繁殖犬候補として恵光導盲犬学校 *Huikuang Guide Dog School Taiwan* (台湾) へ、2頭を訓練犬候補として香港導盲犬服務中心 *Hong Kong Seeing Eye Dog Services* (香港) へ提供（無償）した。

1.8 後進の育成

訓練士研修生の募集をおこない、書類選考、面談、実習、役員面談を経て応募者のうち1名の採用を決定した（令和6年度より就業）。

一覧：保有犬の訓練／新規確保の状況（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

訓練した犬			確保した犬		
17			7		
盲導犬認定	進路変更（譲渡）	訓練継続／他	自家繁殖	譲受	購入
4	6	7	6-3=3	2	2

一覧：保有犬の状況（令和6年3月31日現在）

盲導犬	訓練犬	繁殖犬	広報犬	仔犬	合計
10	4	4	3	5	26

2. 広報啓発業務

以下の業務は、日本における盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業に対して社会の理解を求める目的でおこなったものである。

2.1 学習会・見学会の開催

一般の希望者を募り、定期的に施設内で開催している学習会・見学会については人手不足に鑑み、開催を見合わせた。ただし、夏休みの課題等で盲導犬について関心を持つ小学生のために、8月に臨時で学習会を開催した（1回）。

2.2 出張講話・デモンストレーション

視覚障害と盲導犬についての講話（一部、実演を含む）を、依頼を受けて13回おこなった（企業、社会福祉協議会、小学校、高等学校、動物専門学校、教育委員会、その他団体）。講話の主な対象者は次のようであった：小中学生と保護者、高校生、専門学校の学生、企業役職員、その他、福祉に関心を寄せる成人

2.3 イベント参加

企業や団体が開催するイベントに職員、役員、広報犬が参加し、広報啓発活動を展開した（13回）。主な参加先は次のようである：県内の公益法人が主催する地域のイベント、視覚障害者協会の主催するイベント、ライオンズクラブの主催するイベント

2.4 イベントの開催

本法人が主体となり、視覚障害と盲導犬に関する啓発を主たる目的としたイベントを次のように開催した。

2.4.1 盲導犬写真パネル展示（令和5年8月17日～8月22日／対象：2500人）

株式会社水戸京成百貨店の協力のもと、同百貨店の催事場に盲導犬に関する写真を大判パネルで展示し、来店者の方々に盲導犬育成事業に関心を持ってもらえるよう務めた。

2.4.2 盲導犬の講話とコンサートのイベント（令和5年11月11日／対象：約200名）

赤い羽根歳末たすけあい募金の助成を受け、盲導犬と視覚障害者に対する理解を促すイベントをひたちなか市文化会館にて開催した。イベント前半では来場者向けに盲導犬の概要をわかりやすく説明、後半では盲導犬ユーザーの演奏家によるコンサートをおこなった。

2.4.3 盲導犬写真パネル展示（令和5年11月20日～11月25日／対象：不特定多数）

ひたちなか市の商業施設、ニューポートひたちなかファッションクルーズの協力のもと、本館2階に盲導犬に関する写真を大判パネルで展示し、来店者の方々に盲導犬育成事業に関心を持ってもらえるよう務めた。

2.4.4 盲導犬写真パネル展示（令和5年12月1日～12月26日／対象：約1000人）

ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社の協力のもと、ひたちなか市勤労者総合福祉センターにて盲導犬に関する写真パネルの展示をおこない、来所者の方々に盲導犬育成事業について関心を持ってもらえるよう努めた。また、本催しの一環として12月10日には視覚障害者の演奏家（ご夫妻）のコンサートを会場で開催した。

なお、以上に展示した写真は全て MOON LIGHT 小沼渉写真事務所（水戸市）が撮影し無償提供。

2.5 支援団体との共同活動

ボランティアグループ・ローリー（本法人の支援ボランティアグループ）、特定非営利活動法人チーム・ユーチャリス、東海ライオンズクラブの活動へ職員、役員、広報犬を派遣し、共同で盲導犬普及啓発活動と募金活動をおこなった：京成百貨店 104 回、トモニーつくば店 16 回、イオン東海店 12 回、東海村役場 11 回、JR 勝田駅 23 回、その他 15 回

2.6 資料配布

上述した機会において、日本の盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業の概要をまとめた資料「配布用資料」（年度内 2,000 部増刷）、並びに本資料の要点を抜粋した栞サイズのチラシ（年度内 16,000 部印刷）を配布し、盲導犬育成事業への社会の理解がより深まるよう務めた。その他、当会の直近の活動をまとめた「協会だより VOL 8」（年度内 4,000 部印刷）や盲導犬や盲導犬ユーザーへの理解を呼びかけるチラシ（年度内 7,700 部印刷）を作成、配布した。

3. 財源強化充実のための取り組み

広報活動を通じて個人、団体、企業へ支援の働きかけをおこなう他、安定した運営資金を確保するため募金活動を頻回におこなうように努めた。支援団体と共同でおこなった街頭募金活動は合計で181回となった(2.5参照)。

4. 寄附金の使途報告

ここでは令和5年度の寄付金・助成金のうち、具体的な使途の報告が条件であった寄附金・助成金について、その金額と使途について報告する。

- ・ かすみがうらマラソン大会実行委員会からの寄附金(347,128円)
使途：保有犬の医療費(検査含む)に要した765,091円の一部(≒45%)に充当した。

5. その他

5.1 理事会・評議員会の開催

理事会		評議員会	
第1回	令和5年5月30日(火)	定時	令和5年6月20日(木)
第2回	令和6年3月1日(金)		
開催場所：理事会は本法人の主たる事務所、評議員会は決議の省略(書面によるみなし決議)			

5.2 県知事表敬訪問

令和5年5月23日、役員、歩行指導員、及び盲導犬ユーザーが大井川和彦茨城県知事への表敬訪問をおこなった。

5.3 他団体主催の行事等への参加(広報啓発業務以外)

助成金、目録等の受け取りや自己紹介、挨拶をおこなう目的で、ライオンズクラブの周年記念や例会、仏寺主催の法事等、他団体の主催する行事に職員や役員、広報犬が参加した。

5.4 附属明細書

本報告書に補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は作成しない。

以上、令和6年6月11日、理事会にて承認、同日、評議員会にて報告